

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-187266

(43) 公開日 平成9年(1997)7月22日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 2 4 D 3/04			A 2 4 D 3/04	
			3/08	
			3/10	
			3/14	
A 2 4 F 13/06			A 2 4 F 13/06	E
審査請求 未請求 請求項の数18 O L (全 5 頁) 最終頁に続く				

(21) 出願番号 特願平8-333984

(22) 出願日 平成8年(1996)12月13日

(31) 優先権主張番号 5 7 6 4 2 7

(32) 優先日 1995年12月21日

(33) 優先権主張国 米国 (U S)

(71) 出願人 594112886

アール・ジェイ・レイノルズ・タバコ・カンパニー

アメリカ合衆国、ノース・カロライナ・
27102、ウインストン・セイレム、ノー
ス・メイン・ストリート・401

(72) 発明者 ミツキー・リー・スミス

アメリカ合衆国、ノース・カロライナ・
27106、ウインストン・セイレム、トーレ
イ・クリーク・ドライブ・4721

(74) 代理人 弁理士 川口 義雄 (外2名)

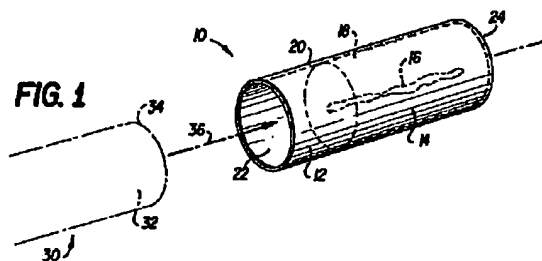
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 シガレット用の使い捨て香味つきフィルタ

(57) 【要約】

【課題】 シガレットの吸い口端に取り付けることができ、多数の香味料のいずれかの単品または組み合わせを含む使い捨て香味つきフィルタを提供する。

【解決手段】 シガレットの吸い口端に取り付けることのできる使い捨て香味つきフィルタは、挿入端と吸い口端を含む。フィルタの第一内部は、挿入端とその近くにフィルタの空間を規定するが、フィルタの第二内部は、吸い口端とその近くに一つまたは複数のセグメントを規定する。本発明の単一セグメント実施形態では、単一セグメント中に、香味料が注入されるか、または香味を含むカプセルが挿入される。本発明の二つのセグメント実施形態では、空間とフィルタ吸い口端におけるセグメントとの間に配置されたセグメント中に、香味料が注入されるか、または香味を含むカプセルが挿入される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 シガレットの吸い口端に取り付けることのできる使い捨て香味つきフィルタであって、挿入端、吸い口端、第一内部、及び第二内部を有し、フィルタの第一内部は前記挿入端に近接して位置し、フィルタの空間を規定し、フィルタの第二内部は前記吸い口端に近接して位置し、少なくとも一つのセグメントを規定し、この少なくとも一つのセグメントはフィルタ材料とこの中に配置された少なくとも一種の香味料を有する使い捨て香味つきフィルタ。

【請求項2】 前記フィルタ材料が酢酸セルロースを含む請求項1に記載のフィルタ。

【請求項3】 前記フィルタ材料がポリプロピレンを含む請求項1に記載のフィルタ。

【請求項4】 前記フィルタ材料が折り曲げた紙を含む請求項1に記載のフィルタ。

【請求項5】 前記少なくとも一種の香味料が注入された香味料を含む請求項1に記載のフィルタ。

【請求項6】 前記少なくとも一種の香味料がマイクロカプセル化されたペレットを含む請求項1に記載のフィルタ。

【請求項7】 前記フィルタ材料が紙の基体を含み、前記少なくとも一種の香味料が紙の基体の上にプリントされた香味料を含む請求項1に記載のフィルタ。

【請求項8】 前記少なくとも一種の香味料が、前記少なくとも一つのセグメント中に配置されたカプセルの内部に含まれている請求項1に記載のフィルタ。

【請求項9】 前記少なくとも一つのセグメントが、前記吸い口端の近くに配置された第一セグメントと、前記空間と前記第一セグメントとの間に配置された第二セグメントを含む請求項1に記載のフィルタ。

【請求項10】 前記フィルタ材料が酢酸セルロースを含む請求項9に記載のフィルタ。

【請求項11】 前記フィルタ材料がポリプロピレンを含む請求項9に記載のフィルタ。

【請求項12】 前記フィルタ材料が折り曲げた紙を含む請求項9に記載のフィルタ。

【請求項13】 前記少なくとも一種の香味料が注入された香味料を含む請求項9に記載のフィルタ。

【請求項14】 前記少なくとも一種の香味料がマイクロカプセル化されたペレットを含む請求項9に記載のフィルタ。

【請求項15】 前記フィルタ材料が紙の基体を含み、前記少なくとも一種の香味料が紙の基体の上にプリントされた香味料を含む請求項9に記載のフィルタ。

【請求項16】 前記少なくとも一種の香味料が前記第二セグメント中に配置されている請求項9に記載のフィルタ。

【請求項17】 前記少なくとも一種の香味料が、前記少なくとも一つのセグメント中に配置されたカプセルの

内部に含まれている請求項9に記載のフィルタ。

【請求項18】 前記少なくとも一種の香味料が、前記第二セグメント中に配置されたカプセル中に含まれている請求項9に記載のフィルタ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、一般にシガレット用の使い捨て香味つき (flavored) フィルタに関し、より詳細には、シガレットの吸い口端に取り付けることができ、多数の香味料のいずれかの単品または組み合わせを含む使い捨て香味つきフィルタに関する。

【0002】

【従来の技術】シガレットの代用品として香味料または芳香性材料を使用することは、当技術分野で周知である。このようなシガレット代用考案品は、例えば米国特許第2342853号、同第3347231号、同第3683936号、及び同第4995407号に開示されている。

【0003】さらに、このようなシガレット代用品のユーザに香味や芳香を届ける各種の装置や手段が開発されている。例えば、米国特許第3347231号及び同第4995407号を参照されたい。

【0004】そのほかに、シガレットフィルタ製造技術の分野では、フィルタを成形するときにフィルタトウ (tow) 中に液状香味料を注入するか、または風味を放出するペレットを埋め込むことは周知である。これについては、本発明の譲受人に譲渡された米国特許第4862905号及び同第5387285号を参照されたい。

【0005】しかし従来の技術では、香味料または芳香性材料は、製造工程中にシガレット代用品またはシガレット中に導入されてきた。したがって従来の技術では、シガレット製品自体から離れ、これとは別に、しかもユーザの自由選択に応じてシガレットに取り付けることのできる考案品の形をした、風味を放出する製品の開発が必要であった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明は一般にシガレット用の使い捨て香味つきフィルタに関し、さらに特定すれば、シガレットの吸い口端の取り付けことができ、多数の香味料のどれでも単品または組み合わせを含む使い捨て香味つきフィルタに関する。

【0007】

【課題を解決するための手段】特に、使い捨て香味つきフィルタは挿入端と吸い口端を有し、挿入端の近くのフィルタロッドの第一内部は、シガレットの吸い口端を受け入れるため、またはシガレットの吸い口端に位置する通常のフィルタを受け入れるための、フィルタの空間部を規定する。望むならば、この挿入端を、シガレットの端部がもっと容易に挿入されるように僅かにじょうご状に広げてよい。フィルタロッドは、使い捨て香味つき

フィルタの吸い口端の近くに第二内部も有しており、この第二内部は、フィルタ材料が入れられる一つまたは複数のセグメント (segment) を規定する。

【0008】本発明の一実施形態では、使い捨て香味つきフィルタの吸い口端とその近くに単一セグメントが配置され、少なくとも一種の香料がこのセグメントにおけるフィルタ材料中に配置されている。他の一実施形態では、二つのセグメントが香味つきフィルタ中に配置され、その一つは香味つきフィルタの吸い口端とその近くに位置し、他の一つは第一セグメントと空間との間に配置されている。後者の実施形態では、少なくとも一種の香料が第二すなわち中央に置かれたセグメント中に配置されている。

【0009】最後に、香料を、ガーニチャ (garniture) またはバッスル (bustle) 注入によって、またはマイクロカプセル化された香味ペレットの形で、または香味を含むカプセルの形で、前記セグメントの内部に入れることができる。

【0010】したがって、本発明の第一の目的は、シガレット用の使い捨て香味つきフィルタを提供することである。

【0011】本発明の別の目的は、シガレットの吸い口端に取り付けることのできる使い捨て香味つきフィルタを提供することである。

【0012】本発明のさらに別の目的は、空間を規定する第一内部と少なくとも一つのセグメントを規定する第二内部とを有する、使い捨て香味つきフィルタを提供することである。

【0013】本発明のさらに別の目的は、香料が加えられた単一セグメントを有する使い捨て香味つきフィルタを提供することである。

【0014】本発明のさらに別の目的は、複数のセグメントを有し、一つの内部セグメントに香料が加えられた、使い捨て香味つきフィルタを提供することである。

【0015】本発明のさらに別の目的は、香料がガーニチャまたはバッスル注入によって加えられた、使い捨て香味つきフィルタを提供することである。

【0016】本発明のさらに別の目的は、香料がマイクロカプセル化された香味ペレットの形で加えられた、使い捨て香味つきフィルタを提供することである。

【0017】本発明のさらに別の目的は、香味を含むカプセルがフィルタのセグメント中に挿入された、使い捨て香味つきフィルタを提供することである。

【0018】本発明の上記及びその他の目的、及び特徴は、下記の詳細な説明、特許請求の範囲、及び添付の図面によって、より明白に理解されよう。

【0019】

【発明の実施の形態】ここで本発明を、さまざまな図面を参照してより詳細に説明する。

【0020】図1は、香料が加えられた単一セグメン

トを有する使い捨て香味つきフィルタの斜視図である。この図に示すように、使い捨て香味つきフィルタ10は、シガレット30と共に使用され、シガレット30に、さらに具体的にはシガレット30の吸い口端34に配置されたフィルタ32に取り付けることができる。

【0021】さらに図1に示すように、使い捨て香味つきフィルタ10は、フィルタ10の挿入端22と近くに位置するフィルタ10の内部によって規定された空間12を含む。フィルタ10はまた、フィルタ10の吸い口端24と近くにおけるフィルタ10の内部の残り部分を占める単一セグメント14も含む。

【0022】セグメント14はフィルタ材料から成り、セグメント14のためのフィルタ材料として、多くの繊維質及びその他の材料いずれも使用することができる。望ましい材料には、酢酸セルロース、ポリプロピレン、及び紙が含まれる。酢酸セルロースは安価であり、従来のシガレットで通常使用されている材料であるので、喫煙者にとっては馴染みがあるという利点がある。さらに酢酸セルロースは製造が簡単である。ポリプロピレンは、フィルタ10の堅固さと耐久性を増すという酢酸セルロースに勝る利点を有し、より効果的に香味を放出する。最後に、ギャザー紙 (gathered paper) はフィルタ10を通しての圧力低下が少ないという利点を有する。

【0023】セグメント14はプラグラップ (plug wrap) 18で包まれており、そしてさらに内側貼り込み状 (tipping-like) の紙20で包まれている。紙20は、空間12を規定する中空部分を形成するように、セグメント14の端を通過してフィルタ10の挿入端22に延びている。フィルタ10は挿入端22では、長軸36に沿ってシガレット30の吸い口端34を受け入れるのに十分な内径を有する。望むならば、挿入端22を、シガレット30の吸い口端34の挿入を容易にするために僅かに広げてよい。

【0024】一例として、図1に示す実施形態は、長さが約28mm、周囲が約25.90mmのフィルタ10の形状で実現することができる。28mmの長さは、長さが約10mmの空間12と、長さが約18mmのフィルタ材料の単一セグメント14とから成っている。

【0025】上述のように、本発明によれば、香料16を、ライニングまたはバッスル注入によって、または香料の保存性を高めるためにフィルタ10に挿入されたマイクロカプセル化された香味ペレットの形で、セグメント14に加えられる。あるいは、セグメント14のためのフィルタ材料として紙の基体が採用される場合には、紙の基体に香味をプリントすることができる。

【0026】図2は、香味を含むカプセルが挿入された単一セグメントを有する、使い捨て香味つきフィルタの斜視図である。図2の使い捨て香味つきフィルタ40の全体構造は、基本的に図1の使い捨て香味つきフィルタ10と同じであり、したがって該当する場合、同じ参照

番号が使用されている。

【0027】図1のフィルタ10とは対照的に、図2のフィルタ40は、一つまたは複数の香味を含むカプセル42の形で香味料が付与されている。カプセル42は、ユーザが押しつぶすことによって破れるように、もろい性質であることが好ましい。カプセル42の使用は、フィルタ10の保存性を大幅に高め、さらに香味が放出される時間を消費者が調節できるようにする。

【0028】図3は、香味料が内部セグメントに加えられた二つのセグメントを有する、使い捨て香味つきフィルタの斜視図である。この図に示すように、使い捨て香味つきフィルタ50は、フィルタ50の挿入端22に位置する空間12と、フィルタ50の吸い口端24に位置するセグメント52とを含み、この間に追加のセグメント54が位置している。先の実施形態と同様に、セグメント52、54はプラグラップ18の内部に囲まれ、それからセグメント52、54は貼り込み状の紙20の内部に囲まれている。また上記の実施形態と同様に、貼り込み状の紙20は、空間12を形成するように、セグメント54の端を通過して挿入端22に向かって延びている。

【0029】セグメント52は、吸い口端24において口にくわえる部分として使用される酢酸セルロースのトウであることが好ましいが、セグメント54は、ギャザー紙から成るフィルタ材料であることが好ましい。

【0030】本発明によれば、セグメント54のフィルタ材料には、香味料56が、ガーニチャまたはバスル注入法によって、またはこれに塗布したマイクロカプセル化された香味ペレットによって注入される。

【0031】図4は、二つのセグメントを有し、香味を含むカプセルが内部セグメントに挿入されている、使い捨て香味つきフィルタの斜視図である。図4に開示する実施形態は、基本的には図3に開示された実施形態と同じであり、したがって該当する場合、同じ参照番号が使用されている。しかしながら図4の実施形態では、図3の実施形態とは対照的に、一つまたは複数の香味を含むカプセル62がセグメント54中に配置されている。このような香味を含むカプセル62は、ユーザが押しつぶすことによって破れるように、もろい性質であることが好ましい。カプセル62は製品の保存性を大幅に高め、さらに香味料が放出される時間を消費者が調節できるようにする。

【0032】一例として、図3及び図4の実施形態を長さが約28mmであるフィルタ10によって実現することができる。図3及び図4の実施形態のセグメント配置は、空間12の長さが約10mm、セグメント54の長さが約12mm、そしてセグメント52の長さが約6mmになるようにしている。

【0033】あるいは、図3及び図4のフィルタ50、60をそれぞれ、長さ約22mm、周囲約25.90mm

m、空間12の長さ10mm、セグメント54の長さ約6mm、及びセグメント52の長さ約6mmのフィルタとして実現することができる。

【0034】上述の図1～図4の実施形態の各々において、採用されるプラグラップ18は、オーストリアのワッテンスのWattens Papier社製の646プラグラップなどの、無孔質プラグラップであることが好ましいことに注目されたい。上記の実施形態で採用される香味料は、多くの種類にすることができ、例えばメントール、ペパーミント、チョコレート、コーヒー、シナモン、タバコ、オランダハッカ(spearmint)、冬緑油(wintergreen)、クローブ(clove)、ラム(rum)などを採用することができる。

【0035】本発明の上記の各実施形態は、次のように喫煙者によって使用される。図1～図4のフィルタ10、40、50、または60を、シガレット30の吸い口端34に取り付けると、すなわち吸い口端34(フィルタ32)を挿入端22に挿入することによってシガレット30のフィルタ32に取り付けると、フィルタ32はフィルタ10、40、50、または60の空間12中に置かれる。それからユーザは通常の方法でシガレット30に火をつける。図1と図3の香味料16、56の香味は消費者に提供され、その他に消費者の側には何の作用もない。あるいは、図2と図4の実施形態を採用する場合には、香味をユーザに提供する時に香味を放出させるために、ユーザは香味を含むカプセル42、62を押しつぶさなければならない。シガレット30と使い捨て香味つきフィルタ10の用がなくなると、ユーザはこれを通常通り捨てることになる。

【0036】本発明を例示する際、好ましい形状および配置を示したが、本開示の趣旨および範囲を逸脱することなく様々な変更や修正を行うことができることを理解されたい。

【図面の簡単な説明】

【図1】香味料が加えられた単一セグメントを有する使い捨て香味つきフィルタの斜視図である。

【図2】香味を含むカプセルが挿入された単一セグメントを有する、使い捨て香味つきフィルタの斜視図である。

【図3】香味料が内部セグメントに加えられた二つのセグメントを有する、使い捨て香味つきフィルタの斜視図である。

【図4】二つのセグメントを有し、香味を含むカプセルが内部セグメントに挿入されている、使い捨て香味つきフィルタの斜視図である。

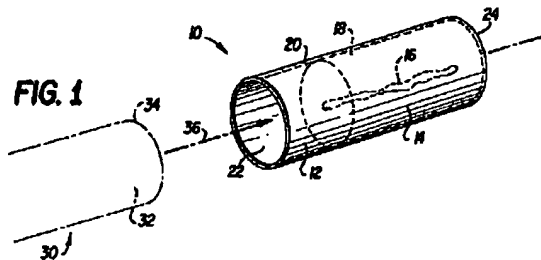
【符号の説明】

10, 32, 40, 50, 60 フィルタ
12 空間
14, 52, 54 セグメント
16 香味料

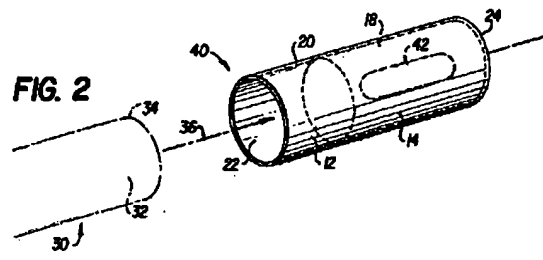
18 プラグラップ
20 紙
22 挿入端
24, 34 吸い口端

30 シガレット
36 長軸
42, 62 香味を含むカプセル

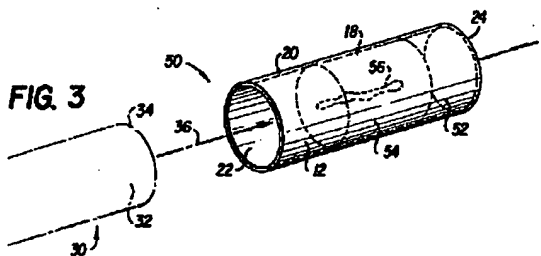
【図1】



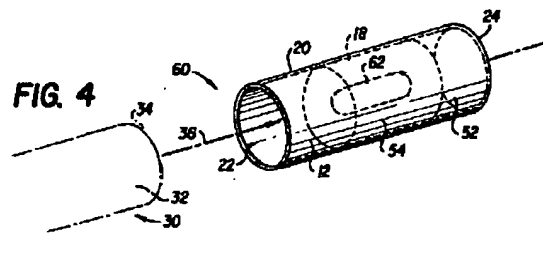
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

(51)Int. Cl.⁶
// C 1 1 B 9/00

識別記号 庁内整理番号

F I
C 1 1 B 9/00

技術表示箇所
Z

(72)発明者 パリー・スミス・フアグ
アメリカ合衆国、ノース・カロライナ・
27104、ウインストン・セイレム、フライ
ヤー・タツク・ロード・430

(72)発明者 ジョン・ダグラス・ウィーバー
アメリカ合衆国、ノース・カロライナ・
27012、クレモンズ、スタンクリフ・コー
ト・7031

(72)発明者 デビッド・ニコラス・イアウコ
アメリカ合衆国、ノース・カロライナ・
27104、ウインストン・セイレム、スタッ
フ・オードシャー・ロード・341